

10. 薬科学教育部

(分析項目Ⅰ 教育活動の状況 …………… 24)

(分析項目Ⅱ 教育成果の状況 …………… 24)

分析項目Ⅰ 教育活動の状況

〔判定〕 相応の質にある

〔判断理由〕

教育活動の基本的な質を実現している。

〔特色ある点〕

- 薬科学教育部独自のシナリオを用いた研究倫理プログラムワークショップを開催している。ワークショップは座学ではなく、少人数グループのディスカッション形式を取り入れるほか、外国人留学生にも対応（留学生のグループを設け、英語の資料を活用）したものとなっている。
- 蔵本地区の医療系教育部が共同して、6つの医療系クラスター（「骨と Ca」「ストレスと栄養」「感染・免疫」「肥満・糖尿病」「脳科学」「心・血管」）を構築し、蔵本地区全教育部横断的な指導体制の下、それぞれのクラスターの専門性を活かした教育指導を通じて、大学院生のニーズに応えた効果的な教育を行っている。毎年クラスターごとに学生の所属教育部を越えて議論を交わし刺激し合う場としてのミニリトリートを実施し、参加者の高い評価を得ている。

分析項目Ⅱ 教育成果の状況

〔判定〕 相応の質にある

〔判断理由〕

現況分析単位の目的に沿った基本的な教育成果が認められる。